

## 第137回研修会

### 「ふるきよきもの伝承」 (その22)

2015年6月12日(金)~13日(土)

失われつつある  
日本の精神文化を求めて



盛岡市先人記念館にて

# 偉人のふるさとを訪ねて (盛岡編)

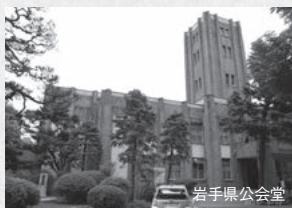
世界でベストセラーとなった『武士道』を執筆し、東京女子大学初代学長や国際連盟事務次長などを歴任、旧五千円札の顔にもなった新渡戸稲造のふるさと・盛岡を訪ねました。



新渡戸稲造生誕地に立つ  
朝倉文夫作の新渡戸像

### 岩手県公会堂と 日比谷公会堂

大正12(1923)年、当時皇太子であった、昭和天皇のご成婚を記念し建設された岩手県公会堂。これを設計したのは佐藤功一博士です。岩手県公会堂は彼の代表作の一つ・日比谷公会堂と非常によく似た外観をしています。岩手県公会堂は日比谷公会堂に比べて小規模ですが、スクラッチタイル張り外装や塔屋の姿はまるで兄弟のよう。現在でも漆喰の美しいレリーフや優雅な曲線のバルコニーなど、佐藤博士が設計したアール・デコ様式の意匠が残っています。



岩手県公会堂

一行がまず訪れたのは、岩手県公会堂の中にあるレストラン多賀。ここでは新渡戸稲造が愛した食事が楽しめます。一行は岩手県公会堂の会議室で、スープ仕立ての魚料理・海の幸のブイヤベース・マルセレーズやアイスクリームと桃の上にいちごジャムをかいたピーチメルバなどを味わいました。

その後、一般財団法人新渡戸基金常務理事の藤井茂さんに新渡戸稲造について講演いただきました。



新渡戸稲造が愛した料理  
「ブイヤベース」

### レストラン多賀



盛岡の偉人たちの  
業績が学べる  
盛岡市先人記念館入口

新渡戸の  
軌跡を学  
びました。

### 盛岡市先人記念館

盛岡市先人記念館では、明治以降に活躍した盛岡ゆかりの先人130人が紹介されています。特に有名な新渡戸稲造、米内光政、金田一京助の3名は記念室が設けられており、部屋はその人物にゆかりのあるデザインがなされています。新渡戸稲造記念室は彼が留学したジョンズ・ホプキンス大学の図書館を模しており、彼の業績を展示しています。資料や写真などに加え、キュリー夫人の使った鉛筆もあり、広く世界で活躍した

### もりおか歴史 文化館

二日目は盛岡城跡公園内のもりおか歴史文化館の見学から始まりました。盛岡の祭り・チャグチャグ馬コや盛岡藩を築いた南部家の歴史などを見学しました。その後、一行は健脚コースとゆったりコースに分かれて、盛岡の街を巡りました。



ゆったりコースボランティアガイド  
坂本弘子さんによる宮沢賢治の詩碑の解説



健脚コースボランティアガイド真山重博さん  
とともに盛岡城址巡り

